

一般質問

鈴木 ひろ子 議員 (共産)



介護保険9期は、保険料の引き下げと品川区だけが地域に未設置の地域包括支援センターを設置し専門職の配置を。

医療的ケア児者の支援の拡充を

高額所得者に応分の負担となるよう、介護保険料のさらなる多段階化を求める。

国の例に倣い、適切な設定を検討する。

ジェンダーギャップ指数が世界125位 推進条例は、遅れた現状を前に進める実効性あるものに

ジェンダー平等推進条例の考え方に、男女の賃金格差の是正を入れるよう求める。

固定的な性別役割分担意識の解消など、条例に盛り込むべき考え方を通して、男女の賃金格差の啓発・解消に取り組んでいく予定だ。

トルコ航空の経路逸脱によって明らかになった都心ルートの危険 羽田新ルートは中止を

羽田空港発のトルコ航空機が離陸直後にルートを外れる事態が発生。危険性が明らかになった以上、羽田新ルートは中止すべき。

トルコ航空機について、国からは航空会社に再発防止策の策定等を指示し、トルコ当局にも適切な指導を要請した。区でも、早急な原因究明と再発防止に向けた取組を国に求めた。

リニア新幹線、またしても工事ストップ 外環道のような事故が起る前に国とJRに中止を求めよ

リニア新幹線工事は5月に再開し、僅か2か月で再びストップした。調布市と同様の事故が品川区でも起こり得るのではないのか。

リニア中央新幹線はJR東海の責任の下に実施されている事業であり、現在区内で実施中の調査掘進は、外環道での陥没事故を踏まえ、施工管理の一層の強化を図るため実施されていると認識している。(その他の質問) ガザでのジェノサイドを許すな ガザ攻撃中止と即時停戦に向け品川区も行動を

一般質問

塚本 よしひろ 議員 (公明)



中小企業支援・物価高対策

省エネルギー対策設備更新助成金の申請期限延長とキャッシュレス決済ポイント還元の実施を求める。

期限の延長を検討する。キャッシュレス決済ポイントは他自治体の動向等を注視し、検討を行う。

中小企業人材確保のための奨学金返済支援の活用促進を求める。

区の経営相談窓口での事業PRや、区内経済団体を通じた周知などを行うことで活用を促進する。

厚労省の年取の壁・支援強化パッケージの適用を受けられるよう情報提供や相談体制の整備を進め、区内の中小企業や従業員が必要な情報提供や相談を受けられるよう、適切に支援を進める。

介護と障害児相談支援について 低所得者層への介護保険料軽減策

一般質問

西村 直子 議員 (自民)



水辺の観光施策について

水辺観光活性化のための戦略的な施策、記憶と心に残る取組について、区の考えを問う。

今年度から水辺の利活用を推進する計画の策定に着手している。戦略的には、点在するコンテンツを有機的につなぎ水辺から街の中への回遊性を高める取組が有効と認識している。

児童相談所開設後、社会で子どもを育て守ることについて

フォスタリング機関を区独自で行うにあたり、家庭と同様の環境下で養育を提供する里親制度は重要。万全な体制で包括委託ができるよう環境整備を求める。

包括的に委託する方向で検討している。区の地域特性に合った事業者の確保に努める。

週末や季節の里親(フレンドホーム)を積極的に啓発してほしい。里親に関する普及啓発の中で事業の周知を図っていく。

児童相談所のイメージを変えていく施策を求める。

地域社会とつながり、子どもや子育てを支えていくパートナーとして積極的に周知広報を図る。子どもを命を預かり守るといふ強い使命感を持って取組む。

性や生命に関する教育について 生徒・児童の健康相談について伺う。

担任及び養護教諭等が児童・生徒に寄り添いながら、保護者や関係機関などと連携して対応している。

孤独を防ぐ取組みにについて 通いの場など住民主体の活動、フレイル予防、高齢者の孤独を防ぐ支援の周知を求める。

区有施設、町会・自治会をはじめ、広く高齢者への普及啓発を図る。不登校児童が低年齢化するなか、児童センターの活用など、こども家庭庁の方針でもある第3の居場所充実を求める。

一般質問

おぎの あやか 議員 (無所属)



介護人材確保と介護職の待遇改善について

品川介護福祉専門学校は、定員が40人のところ近年の入学者は20人前後となっており、学校名や修学資金貸付制度の周知が不十分であると感じる。今後の周知活動は、令和4年度より学校PRの強化等

のための専任の営業職配置を支援している。都内・他県の高校を訪問しPR活動を行うほか、動画による学校案内等を行っている。

2024年2月から介護職員等の賃金が引き上げられるが、物価上昇率に見合っていない等の声がある。国や都へ引き続き要望し、また区として独自の補助を考えては、現在令和6年度介護報酬改定に向け国の審議会において議論が行われており、国の動向を注視する。

品川区の教育とイじめ問題について 郷土の成り立ちや歴史、自分なりの国家観や世界観等の知識や思考を学ぶ教育をしていただきたい。

コロナ対策の総括について 新型コロナウイルス感染症対応の検証と健康危機管理体制の構築を挙げていたが、進捗は。

区の新型コロナウイルス感染症対応の記録などから、課題の整理と検証を現在進めている。

オーガニックビレッジ構想等の地域連携の構築について 品川区独自のサプライチェーン構築を、今の提携自治体とともに進めていくことを提案する。

早川町等複数の自治体とは、災害時に食料を供給し合う災害時相互援助協定を締結しており、有事の際の食料確保に努めている。

品川区の教育とイじめ問題について 郷土の成り立ちや歴史、自分なりの国家観や世界観等の知識や思考を学ぶ教育をしていただきたい。

市民科では、茶道など日本文化の礼儀作法や、大森貝塚など歴史を学ぶとともに、新しい文化を創造していく大切さを学習している。

その他の質問 補聴器助成金制度について 『話(わ)ー輪(わ)ー』しながら！みんなと区長のタウンミーティングについて